

# 町会報

## えひめ

2011

1

Vol.22

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会  
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2  
TEL089-941-7598(代表)  
FAX089-945-1318



伊方町「伊方保育所」

### Contents

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 町村会第4回全員連絡会 .....         | 2 |
| 全国町村会定期総会 .....           | 2 |
| 優良町紹介(鬼北町) .....          | 3 |
| 議長会第4回定例会 .....           | 4 |
| 市町職員研修会 .....             | 4 |
| 全国町村監査委員協議会定期総会 .....     | 5 |
| 町からのお知らせ .....            | 6 |
| 全国町村職員生活協同組合からのお知らせ ..... | 7 |
| 一 筆 .....                 | 8 |
| 1月の行事 .....               | 8 |
| 編集後記 .....                | 8 |



伊方保育所は、旧保育所が老朽化のため、平成22年3月に新築されました。

木造平屋建ての建物は、木のぬくもりが伝わる優しい造りとなっており、184㎡の広さを誇る遊戯室は床暖房を完備しています。

平成23年3月現在で62名の園児が通っています。

※電源立地地域対策交付金事業で建設

# 鬼北町で開催

## 第4回全員連絡会

## 町内視察も実施

県町村会は、1月19日鬼北町近永公民館講堂において「平成22年度第4回全員連絡会・災害共済支部委員会」を開催した。

会議には、白石会長、上村副会長、清水監事、高野久万高原町長、中村砥部町長、稲本内子町長、山下伊方町長、阪本松野町長及び甲岡鬼北町長の全町長が出席。

会議は次のとおり進められた。

- 1 開 会
- 2 あいさつ 白石会長
- 3 協 議
  - (1) 平成21年度決算について
  - ① 愛媛県町村会一般会計決算事務局から、資料に基づき



決算説明があり、協議の結果、定期総会に提出することに決定した。

- ② ② ③ ④ ⑤
- (2) ② ③ ④ ⑤
- (3) ② ③ ④ ⑤

- (3) ② ③ ④ ⑤
- (3) ② ③ ④ ⑤
- (3) ② ③ ④ ⑤
- (3) ② ③ ④ ⑤
- (3) ② ③ ④ ⑤

事務局から資料に基づき説明があり、協議の結果、原案のとおり開催することに決定した。

次いで、表彰では優良町村として鬼北町など51町村や4,377名の自治功労者の方々が、その栄に浴された。

次いで、受賞者代表謝辞の後、次のとおり議事が進められ、いずれも原案のとおり了承された。

- (4) 次回の本会全員連絡会開催について
- (5) その他

総務省四国総合通信局からの「地上デジタル放送完全移行に向けたお願い」の資料を配布した。

なお、協議終了後、鬼北町農業公社「鬼北きじ工房」ほかを視察した。

## 全国町村会定期総会

## 鬼北町が表彰される

全国町村会定期総会が、1月28日「全国町村会館」において開催され、本会から白石会長、高野久万高原町長、稲本内子町長及び事務局長が出席した。

総会は、平山次長の司会で進められ、はじめに藤原会長（長野県川上村長）があいさつを述べた後に、次の各来賓から挨拶があった。

鈴木総務副大臣  
原口衆議院総務委員長  
野村全国町村会議会議長会長



- 1 議事録署名人の指名
- 2 全国町村会規約の一部改正(案)
- 3 会務報告
- 4 平成21年度全国町村会一般会計歳入歳出決算報告
- 5 平成23年度全国町村会一般会計歳入歳出予算報告

協議終了後、講演に入り、「日本政治の行方」と題して、講師の毎日新聞社論説副委員長の与良正男氏から講演があった。

北宇和郡鬼北町（町長・甲岡秀文氏）は1月28日の全国町村会定期総会で、同会長から優良町村として表彰された。

「森がすくすく、

川がいきいき、人が元気」

自然満足都市きほくく 鬼北町



鬼北町長  
甲 岡 秀 文 氏

#### ◇町の概況

- ・人口 11,991人
- ・面積 241.87 km<sup>2</sup>
- ・産業別就業人口構成比
  - 1次 17・7%
  - 2次 24・7%
  - 3次 57・5%



鬼北町的一大イベント「でちこんか前夜祭」

#### ◇実績の概要

平成の大合併により、平成17年1月に旧広見町と旧日吉村が合併して、新生「鬼北町」が誕生しました。合

併後6年が経過しましたが、合併以来、鬼北町の将来像である「森がすくすく、川がいきいき、人が元気」自然満足都市きほくくを基本として、すべての町民がゆとりと豊かさに満ちた自分らしい生き方を実現できるまちを目指して、施策の展開を図っているところです。

本町においては、少子高齢化や人口減少が急速に進んでおり、主要産業である農林業の担い手不足や耕作放棄地の増加が懸念されるなど、様々な問題を抱えています。このような中で、若者から団塊の世代まで幅広い年齢層の人達の定住を促進するため、「ニュータウン鬼北の里」の分譲を行っています。現在、第1期分譲（24区画）に続いて第2期（22区画）の分譲中ですが、Uターン者やIターン者に移転費の支援を行うなど、定住施策の展開を図っているところです。これまでに46区画の内26区画の分譲が決定し、徐々に新しい町並みが整ってきました。

また、本町は、広見川沿いに広がる農林業の町として第一次産業に力を注いできましたが、農林畜産物の価格低迷、高齢化、後継者不足の中で、新しい地域の特産物を掘り出し元気を取り戻そうと、「きじ」の飼育に取り組んでいます。飼育農家による飼料の統一化、きじ肉の熟成工程の確立、旨み成分を逃がさない急速



鬼北熟成きじ

冷凍技術の導入、安定供給体制を維持するための長期冷凍保存技術の導入などの研究開発を重ねた結果、美味しくて安全な食品として認知されてきました。その結果、「鬼北熟成きじ」は、えひめ「愛」あるブランド産品に認定され、四国圏内はもちろんのこと、東北、関東、関西、九州など全国各地から注文を受けるまでに認知度が向上してきました。

今後も少子高齢化が続くことが予想され、取り組むべき課題は山積していますが、官と民が一体となった「行政と町民の協働によるまちづくり」を推進し、それらの行政課題に積極的に取り組んでいきます。

# 第4回定例会を開催

## 県町村議長会

平成22年度第4回定例会は、1月

13日午後3時30分から「KKR道後ゆづき会議室」において開催。吉村会長、早瀬副会長、原上島町議長、田村久万高原町議長、土居砥部町議長、山崎内子町議長、村尾松野町議長及び山崎鬼北町議長が出席した。会議は、次項により進められた。

### 1 開 会

### 2 挨拶 吉村会長

### 3 会議録署名人の指名

次のとおり指名した。

土居砥部町議長

山崎鬼北町議長

### 4 報 告

#### (1) 行事関係について

請願・意見書等に関する定例



報告について

事務局から、別紙(省略)により説明があり、一同了承。

### 5 協 議

(1) 平成21年度一般会計及び特別会計決算について

事務局から、別紙「決算書」・「意見書」(省略)により内容説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。

(2) 平成23年度会務運営方針及び事業計画について

事務局から、別紙(省略)により説明があり、一同了承し、原案のとおり定期総会に提出することとなった。

(3) 平成23年度一般会計予算(案)について

事務局から、別紙(省略)①会費の分賦方法②予算案③会費の納入時期について説明があり、いずれも了承し、定期総会に提出することとなった。

(4) 平成23年度共済事業特別会計予算(案)について

事務局から、別紙(省略)により説明があり、一同了承し、原案のとおり定期総会に提出することとなった。

(5) 全国町村議会議長会表彰について

事務局から別紙(省略)により説明があり、一同了承した。  
第62回定期総会の開催要領について

事務局から、別紙(省略)①総会次第(案)②決議(案)について

説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。

なお、今回は初めての試みとして、議事終了後に県町村会と合同で式典(来賓祝辞)を行うこととした。

その他  
① 四国地区議長会研修会について

② 地方議会議員年金制度見直しに係る全国町村議会議長会の対応について

③ 次回定例会について

④ 愛媛県市町総合事務組合議会議長会について

### 平成22年度 市町職員研修会実施要領

- 1 研修目的 本年度事業計画に基づき、本県の同和対策の推進を図るため、会員市町の管理職員を対象に開催するものである。
- 2 主 催 愛媛県人権協会
- 3 日 時 平成23年1月25日(火)  
開 会 午後1時00分  
閉 会 午後3時30分(予定)
- 4 場 所 愛媛県農業共済会館 5階 会議室  
住所 松山市二番町4丁目4番地2
- 5 研修演題、講師、対象者  
・演 題 「人の値打ちを問う」  
・講 師 愛媛県人権啓発指導員 友田義一氏  
・対 象 市町管理職員(市3人、町2人)

議員について  
⑤ 規約運用内規の改正(案)について  
順次、事務局から説明があり、一同了承した。

### 市町職員研修会を開催

愛媛県人権協会(事務局・愛媛県町村会内)では、1月25日愛媛県農業共済組合連合会において「市町職員研修会」を開催した。

この研修は本県の同和対策の推進を図るため開催し、啓発映画「人の値打ちを問う」の後、講演を行った。講師は、愛媛県人権啓発指導員の友田義一氏で演題「同和問題と人権について考える」。

会員市町の管理職員ら42人が出席した。



# 全国町村監査委員協議会定期総会 副会長に上甲会長（鬼北町）が就任

全国町村監査委員協議会の「第20回定期総会」が、1月21日、「全国町村議員会館・会議室」において開催され、関係県の会長、事務局長ら約70人が出席した。

総会は、新見全国会長（島根県）のあいさつに始まり、左記のとおり進められた。

## 1 議長選出

北口北海道会長を選出。

## 2 議事録署名名人の指名

## 3 議事

日程第1 報告第1号 会務報告



会長から1年間の会務の状況を報告があった。

日程第2 承認第1号 「平成21年度全国町村監査委員協議会決算」

本会上甲会長が監査結果を報告し、異議なく承認された。

日程第3 議案第1号 「平成23年度全国町村監査委員協議会事業計画及び予算」を議決。

日程第4 議案第2号 「決議」を原案のとおり決定。

日程第5 議案第3号 「監査制度の充実強化に関する要望」を原案



就任あいさつを述べる上甲本県会長（鬼北町）

のとおり決定。

日程第6 協議第1号 「実行運動方法」を決定。

日程第7 役員の選

任

別紙のとおり選

出。本会上甲会長

（鬼北町代表監査

委員）は副会長に

選出された。

なお、前日の20日

に幹事会が開催され、

事務局長が出席。総

会提出案件の事前協

議を行った。

## 決 議

監査委員は、地方自治体の必置機関として置かれ、定期監査、例月出納検査はもとより、増加の一途を辿る住民監査請求等に対応するため、日々研鑽に励み、違法、不当の指摘にとどまらず、指導・予防に重点を置いた監査の実施に努め、今まで以上に行政に対する住民の期待と信頼の増進に応えなければならない。

さらに、平成19年度決算からは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、指標の公表が気義務付けられるなど、監査委員の役割と責任はますます大きくなるばかりである。

しかしながら、町村における監査体制は、監査委員に課せられた義務と責任を十分に果たすには程遠い現状にあり、研修、事務局体制の充実強化をはじめ、監査活動費の確保、監査委員報酬の適正化等監査機能の充実強化が喫緊の課題である。

われわれは本日、ここに「全国町村監査委員協議会第20回定期総会」を開催し、相互の緊密な連携のもと、決意を新たに、下記事項の早期実現に向け、組織を挙げて邁進することを表明する。

### 記

- 1 監査機能の充実と監査体制を強化するため、監査事務局体制を整備する。
- 2 監査の充実を期するため、必要な監査活動費を確保し、監査委員報酬の適正化を図る。
- 3 全国の町村監査委員の声を結集するため、未組織都府県の組織化及び全国協議会への早期加入を促進する。

以上、決議する。

平成23年 1 月21日

全国町村監査委員協議会第20回定期総会

## 監査制度の充実強化に関する要望

地方公共団体が自ら責任ある監査を行うためには、監査委員と監査事務局は一体のものであり、すべての規模の自治体において住民に説明できる監査をすることができるよう体制整備・法制化を明確にすべきである。

よって、現行制度の維持存続に加え、監査の独立性・専門性を強化するため、下記事項の実現を強く要望する。

### 記

- 1 地方公共団体に係る監査は、個々の団体毎に自ら責任をもって実施することが基本であり、そのための監査委員の選任及び監査事務局体制の確立について 法律上明記すること。
- 2 監査の独立性を図るため、監査委員は議会において選任できるようにし、議員・OBの選任制限を設けることなく、幅広い人材を確保できるようにすること。

平成23年 1 月21日

全国町村監査委員協議会第20回定期総会

# 町 からの お知らせ

## 久万高原町



### ❶ 「冬の神秘」

厳しい寒波に見舞われ、凍りついた面河溪谷と遅  
越の滝。

冬ならではの自然が織りなす神秘的な景色です。

### ❷ 「西村大師堂しだれ桜」

久万高原町中津地区には、樹齢約  
230年と言われるしだれ桜があり

ます。

中津の人々は古くからこの桜を地



区のシンボルと  
し、樹皮の苔掃除  
や冬場の積雪対  
策、樹木医による  
診断などたくさん  
の愛情を注ぎ守り  
続けてきました。

ここを中心に開  
催される「中津さ  
くらまつり」も、  
今年で9回目を迎  
えます。

準備やバザーの  
出店、駐車場の警  
備などは、すべて  
地域住民の手によ  
るもので、来られ  
るお客さんを楽し  
ませる工夫が随所  
に見られるのもこ  
のまつりの特徴で  
す。

今年の「中津さ  
くらまつり」は4  
月3日(日)を予  
定しています。

全国町村職員生活協同組合からのお知らせです

# なぜ<sup>上乗せ</sup>車両共済(保険)は必要なの？

(自動車総合保険の車両保険)

## 生活防衛になるからです。

万一の事故のとき、車を手放すのも困るし、かといって修理代や購入代金を生活費から出すのも大変！車のローンが残っていたら…なおさら大変ですよ。



自動車事故で一番多いのは **車両事故**

- 1位 **車両事故** 約10人中1人が事故で保険を使用  
お客さまの自動車がついた
- 2位 **対物事故** 約20人中1人が事故で保険を使用  
他人の自動車にぶつけたなど
- 3位 **対人事故** 約100人中1人が事故で保険を使用  
他人を死傷させた

【参考】1年間で事故が発生する頻度(平成22年3月末データ 損保ジャパン調べ)

車の修理費は意外に **高額!**

修理費の平均金額は

**約23万円!!**

約10件に1件が

**50万円超の大きな事故!!** (平成22年3月末データ 損保ジャパン調べ)



自分が悪くなくても車は守れない!



**すぐに修理** に取り掛かることができる!

車両保険に加入していないと、過失割合が決まるまで負担額がわからないため、修理できないことがあります。



さらにこんなケースでは

車両共済(保険)を使用しても

**翌年度の等級(割引)は変わりません!**



**飛び石事故**

フロントガラス破損の修理は平均10万円(小型乗用車の場合)



**いたずら・落書き**

犯人探しは大変。修理費は、想像以上に高額です。



**台風・水害**

台風による水害は、自動車にとって修理費が高額な損害です。

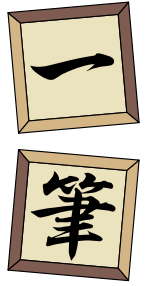


**盗難**

年間の盗難件数(2008年)はなんと27,515件です!(警察庁調べ)

※等級すえおき事故とは?

通常、保険を使用すると自動車保険の翌年度等級がダウンしますが、事故の形態によっては翌年度の等級が下がらない事故があります。これを「等級すえおき事故」と言います。



## 借金・負担・享受

気象については、素人の筆子も本欄で何回となく異常気象として触れてきたが、今冬の日本列島を包む寒気はとりわけ厳しい。昨年夏季の猛暑記録更新に対し、今、最低気温と雪国の積雪量は各地で記録破りにある。豪雪地帯は大方が超高齢社会にあり、加えてその過疎化した限界集落は、雪にまで押し潰されそう。方々、宮崎・鹿児島県境の霧島連峰「新燃岳」の大噴火は、おさまりの気配が見えない年明けとなった。

兎にも角にも自然との対峙を宿命のみで終わらせない対処と共存を念じたい。国道が降雪で埋められ立ち往生の車列、沿道の人達が炊き出し、毛布等の配布、トイレの便宜を図るなど救援行動は、積雪を溶かす温かいものとなった。また、寒波の年末年始に「伊達直人」の心温まる行為は広く連鎖し、息ぎ長くこれからも取り立てて話題にならないような日々の厚意として続いてほしいものである。山口県の福祉施設「下関大平学園」には、昭和45年1月から平成21年12月までの40年間、「三太郎」の名前で毎月お金と子供達あての心こもった手紙が送られて来た。6月と12月は額が多く、自称・三太郎氏は資産家ではないサラリーマンと想われるが、480通に及ぶ手紙は、形式的で美辞麗句ではない素朴な子供

達の心を打つものであった。暗く長いトンネル内にある経済不況のわが国であるが、まだまだ深層に明かりが息衝いていることにホッとする。

さて、閣議決定した来年度政府一般予算は、92兆4,116億円。新規国債は44兆2,980億円と税収の40兆9,270億円を上回り、借金残高は、先進国中ずば抜ける。この借金は1秒間に150万円づつ増える。約1,400兆円の個人資産、約205兆円の民間企業の現・預金や約700兆円の国家財産を有することである。超高齢社会における負債は少なく、借金に次世代へ残したくないものである。今が辛抱のしどころであろうが、何事も理解と納得がなければ挫折の道へとなろう。

日本は低い食糧自給の中で、飽食による食べ残し量が年間700万トン、金額に換算して耳を疑う約11兆円と云われる。一方、生活満足度は上がらず、自殺者も多いわが国である。短絡的な『同情するより、金をくれ』では収まらない内面的歪みがある社会構造になっている現代。手当てを必要として有り難く感じる人、手当てを必要としないが頂く人と居る。両者への果実は徹底した環境の整備充実と思う。

一段と財政厳しい時代、負担と享受の図式は簡単に描くものではない。

「借金と負債に依存している」

家庭生活には、如何なる自由も

正義もあり得ない」

(イブセン ノルウェーの劇作家)

## 1月の会と催し

- ▽4日＝2011年賀交歓会
- ▽5日＝人権対策協議会平成23年年賀交歓会
- ▽7日＝(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター平成22年度臨時理事会
- ▽11日＝全国町村議会議長会臨時都道府県会長会
- ▽13日＝愛媛県町村議会議長会平成22年度第4回定例会及び行政視察
- ▽18日＝内外調整調査会松山支部懇談会
- ▽19日＝平成22年度第4回全員連絡会及び行政視察
- ▽20日＝全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会・役員会
- ▽21日＝全国町村監査委員協議会第20回定期総会
- ▽24日＝警察庁長官との暴力追放懇談会
- ▽25日＝愛媛県人権協会「平成22年度市町村職員研修会」
- ▽27日＝全国自治協会評議員会、全国町村会常任理事会、(財)全国自治協会理事会・災害共済委員会、全国町村職員生活協同組合理事会、全国町村会理事会、全国町村職員生活協同組合総代会、全国市町村職員退職手当組合連合会、同定期総会、全国山村振興連盟支部事務局長会議、愛媛地方税滞納整理機構
- ▽28日＝全国町村会定期総会
- ▽30日＝鬼北町消防出初式

## 編集後記

今年の冬は殊のほか厳しいですね。夏の猛暑が嘘のようです。大雪に見舞われた久万高原町では60センチの積雪があったそうです。春の訪れが待ち遠しいですね。皆さん、風邪にはくれぐれも気を付けてください。

この会報の編集に携わり、もうすぐ2年が経ちます。この間、各町役場の担当者様をはじめ、みなさんの温かいご協力によりまして、どうか発行できております。紙面を借りて、この機会に厚くお礼申しあげます。

地方自治をめぐる動きが活発化しており、いま地方自治法の改正の流れにあります。どのような内容になるのかは、現時点では明らかではありませんが、いずれにしても町行政に影響が出るでしょう。

我々町村会・議長会は、各町のお役にたてる組織でなければならないと思っています。

どうか、お気づきの点や要望事項などがありましたら、お気軽に声をかけてください。また、これら以外の困り事や調べたいことなど大歓迎です。ぜひ、ご連絡ください。

◆ 本年もスタッフ一同、一生懸命がんばりますので、倍旧のご支援とご協力をお願い申し上げます。